

# 令和4年度 【社会科】 教育指導計画

## (1) 科目の担当・分担表

\* 講師の先生

学 年	科 目	担 当 者
1	地理分野	西俣 あおい
1	歴史分野	桑名 恵美
2	地理分野	高橋 誠矢
2	歴史分野	西俣 あおい
3	歴史分野	高橋 誠矢
3	公民分野	桑名 恵美

(2) 指導計画表

科目	地理分野	学年	第1学年	担当者	西俣 あおい
<p>1. 指導目標</p> <p>① 地図や表、グラフなどの資料から、世界の諸地域における特徴を読み取る技能を養う。</p> <p>② 世界の諸地域と身近な地域とを比較し、その相違を考察する力を養う。</p> <p>③ 世界の諸問題を多面的・多角的に捉え、自分の言葉で表現する力を養う。</p> <p>④ 資料から主体的に情報を収集し、協同的に課題解決しようとする態度を育む。</p> <p>2. 指導方法</p> <p>① ICTを活用し、視覚的に地理的事象を捉えることができるようにする。</p> <p>② 「なぜ？」という問いが生徒から自発するような課題設定をし、自分の意見や考えを発表できる場を設けるようにする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>① 定期考査</p> <p>② 授業態度</p> <p>③ 提出物</p>				<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期</p> <p>①世界の姿</p> <p>②日本の姿</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境</p> <p>2 学期</p> <p>④アジア州</p> <p>⑤ヨーロッパ州</p> <p>⑥アフリカ州</p> <p>⑦北アメリカ州</p> <p>3 学期</p> <p>⑧南アメリカ州</p> <p>⑨オセアニア州</p> <p>⑩世界の様々な地域の調査</p>	
<p>教科書</p> <p>中学生の地理（帝国書院）</p> <p>教材・テキスト等</p> <p>中学校社会科地図（帝国書院）</p>					

科目	歴史分野	学年	第1学年	担当者	桑名 恵美
<p>1. 指導目標</p> <p>① 史料から、各時代の特徴を読み取る技能を養う。</p> <p>② 各時代の特色を比較し、その相違を考察する力を養う。</p> <p>③ 歴史的事象を多面的・多角的に捉え、自分の言葉で表現する力を養う。</p> <p>④ 歴史的事象を現代と比較し、日本の社会や文化の成り立ちを学ぶ態度を養う。</p> <p>2. 指導方法</p> <p>① ICTを活用し、視覚的に歴史的事象を捉えることができるようにする。</p> <p>② 日本の歴史や社会、伝統、文化に誇りを持ち、歴史から現代社会を見つめ直すことができるようにする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>① 定期考査</p> <p>② 授業態度</p> <p>③ 提出物</p>				<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期</p> <p>①古代文明</p> <p>②日本の旧石器時代</p> <p>③縄文時代</p> <p>④弥生時代</p> <p>⑤古墳時代</p> <p>2 学期</p> <p>⑥飛鳥時代</p> <p>⑦奈良時代</p> <p>⑧平安時代</p> <p>3 学期</p> <p>⑨武士の起こり</p> <p>⑩源平の争乱</p> <p>⑪鎌倉時代</p>	
<p>教科書</p> <p>中学生の歴史（帝国書院）</p> <p>教材・テキスト等</p> <p>歴史の資料（正進社）</p>					

科目	地理分野	学年	第2学年	担当者	高橋 誠矢
<p>1. 指導目標</p> <p>① 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解する。</p> <p>② 日本や世界の地域の諸事象を考察し、地域的特色や地域の課題をとらえる。</p> <p>③ 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや、各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があることを理解する。</p> <p>2. 指導方法</p> <p>① ICTを活用し、視覚的に地理的事象を捉えることができるようにする。</p> <p>② 「なぜ？」という問いが生徒から自発するような課題設定をし、自分の意見や考えを発表できる場を設けるようにする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>① 定期考査</p> <p>② 授業態度</p> <p>③ 提出物</p>				<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期</p> <p>①日本の地域的特色</p> <p>②九州地方</p> <p>③中国四国地方</p> <p>2 学期</p> <p>④近畿地方</p> <p>⑤中部地方</p> <p>⑥関東地方</p> <p>⑦東北地方</p> <p>3 学期</p> <p>⑧北海道地方</p> <p>⑨地域の在り方</p>	
<p>教科書</p> <p>中学生の地理（帝国書院）</p> <p>教材・テキスト等</p> <p>中学校社会科地図（帝国書院）</p> <p>地理資料集2021（新学社）</p>					

科目	歴史分野	学年	第2学年	担当者	西俣 あおい
<p>1. 指導目標</p> <p>① 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付く。</p> <p>② 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえる。</p> <p>2. 指導方法</p> <p>① ICTを活用し、視覚的に歴史的事象を捉えることができるようにする。</p> <p>② 日本の歴史や社会、伝統、文化に誇りを持ち、歴史から現代社会を見つめ直すことができるようにする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>① 定期考査</p> <p>② 授業態度</p> <p>③ 提出物</p>				<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期</p> <p>①武家政権の内と外</p> <p>②人々の結びつきが強まる社会</p> <p>③大航海によって結びつく世界</p> <p>2 学期</p> <p>④戦乱から全国統一へ</p> <p>⑤武士による全国支配の完成</p> <p>⑥天下泰平の世の中</p> <p>⑦社会の変化と幕府の対策</p> <p>3 学期</p> <p>⑧欧米社会における「近代化」</p> <p>⑨開国と幕府の終わり</p> <p>⑩明治政府による「近代化」の始まり</p>	
<p>教科書</p> <p>中学生の歴史（帝国書院）</p> <p>教材・テキスト等</p> <p>たどってまとめる新歴史（とうほう）</p>					

科目	歴史分野	学年	第3学年	担当者	高橋 誠矢
<p>1. 指導目標</p> <p>① 日本の急速な近代化や、アジアへの進出の背景を、主な戦争を軸に考え、大戦を経て如何に日本の民主主義が達成されていたかを理解し、現代の国際社会における日本の役割を認識する。</p> <p>② 西南戦争、日清・日露戦争、第一次世界大戦、太平洋戦争の5つの戦争を軸に、日本の近現代を捉える。それぞれの戦争の主役を考えることを通して、現代社会を見る国際的視野を養う。</p> <p>2. 指導方法</p> <p>① ICTを活用し、視覚的に歴史的事象を捉えることができるようにする。</p> <p>② 日本の歴史や社会、伝統、文化に誇りを持ち、歴史から現代社会を見つめ直すことができるようにする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>① 定期考査</p> <p>② 授業態度</p> <p>③ 提出物</p>				<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期</p> <p>①明治維新</p> <p>②日清、日露戦争と近代産業</p> <p>2 学期</p> <p>③第一次世界大戦と日本</p> <p>④世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>⑤第二次世界大戦と日本</p> <p>3 学期</p> <p>⑥戦後日本の発展と国際社会</p> <p>⑦新たな時代の日本と世界</p>	
<p>教科書</p> <p>新しい社会 歴史（東京書籍）</p> <p>教材・テキスト等</p> <p>資料カラー歴史（浜島書店）</p>					

科目	公民分野	学年	第3学年	担当者	桑名 恵美
<p>1. 指導目標</p> <p>① 個人の尊厳と人権尊重の意義を多面的・多角的に考察させ、民主主義に関する理解を深めながら、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養とそれに裏付けられた参画意欲を養う。</p> <p>② 実際に起きた、若しくは今現在起きている社会事象を多く取り上げ、それらと憲法・法律・制度などがどのように関連しているのかを理解し、活動などを通して多様な考えを共有しながら、立体的な学習を進めていく。</p> <p>2. 指導方法</p> <p>① ICTを活用し、視覚的に公民的事象を捉えることができるようにする。</p> <p>② 日本の社会制度、課題から現代社会を見つめ直すことができるようにする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>4. 評価の方法</p> <p>① 定期考査</p> <p>② 授業態度</p> <p>③ 提出物</p>				<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期</p> <p>①現代社会の特色</p> <p>②私たちの生活と文化</p> <p>③現代社会をとらえる枠組み</p> <p>④民主主義と日本国憲法</p> <p>⑤基本的人権の尊重</p> <p>2 学期</p> <p>⑥法の支配を支えるしくみ</p> <p>⑦民主政治と私たち</p> <p>⑧国の政治のしくみ</p> <p>⑨地方自治と私たち</p> <p>⑩私たちの生活と経済</p> <p>⑪消費者と経済</p> <p>3 学期</p> <p>⑫企業と経済</p> <p>⑬これからの日本経済</p> <p>⑭財政</p> <p>⑮紛争のない世界へ</p> <p>⑯貧困解消と環境保全</p> <p>⑰課題の研究</p>	
<p>教科書</p> <p>中学生の公民（帝国書院）</p> <p>教材・テキスト等</p> <p>公民資料集（新学社）</p>					